

ハザードマップの使い方

洪水ハザードマップは河川の氾濫等によって浸水が想定される区域及び避難場所等の情報を、みなさんが適切に避難できるように掲載しています。平常時から地域の危険性や情報の入手先、避難の心得等を確認しておき、災害が発生するおそれがある場合は、早急に危険な場所から避難しましょう。

大雨等による水害時には、避難経路に土砂災害などの危険もあります。あわせて、土砂災害ハザードマップ等も確認しましょう。また、台風に備えて、高潮ハザードマップも確認しましょう。

家族で話し合おう

いざという時にあわてず適切な行動をとるため、大雨による洪水等の災害が起こる前からの準備が重要となります。日頃から災害への備えや災害時の行動について、家族や地域で話し合っておきましょう。

- 1 自宅の位置や避難場所を確認しましょう。**
国道や県道の位置、学校や公共施設などの位置を参考に、自宅の位置や避難場所を確認しましょう。
- 2 大雨の時に危険となる場所を確認しましょう。**
自宅周辺にある水路、橋など大雨の時に危険となる場所を確認しましょう。
- 3 危険となる場所を避けて、避難経路を設定しましょう。**
2で確認した大雨の時に危険となる場所を避けて、避難経路を設定しましょう。
- 4 実際に避難経路を歩いてみて、安全か確認しましょう。**
家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険となる場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。
- 5 非常持ち出し品を準備しましょう。**
右側に記載の「非常持ち出し品(例)」を参考に、避難する時に持ち出すものを準備しましょう。
- 6 わが家の防災メモに記入しましょう。**
普段から指定緊急避難場所・指定避難所を確認して、右側に「わが家の防災メモ」に記入しましょう。安否確認のために家族や知人、親戚等の連絡先を記入しておきましょう。

情報の入手先

いざという時は、テレビやラジオ、インターネットから積極的に気象情報や避難情報を入手しましょう。また、ハザードマップに記載されている避難施設については作成当時から変更されている場合があるため、最新の情報については、**西尾市防災アプリやホームページ**をご確認ください。情報は、可能な限り平常時に調べておきましょう。

情報入手

自ら選んで情報を入手しましょう。

- 防災無線**
市内に設置したスピーカーから、災害情報や避難に関する情報などをお知らせします。
- インターネット**
各機関のホームページから、市の防災の取り組みや災害情報、防災情報などについて、情報提供を行います。
- 西尾市ホームページ**
<https://www.city.nishio.aichi.jp/>
- 西尾市ツイッター**
https://twitter.com/nishio_city
- 西尾市フェイスブック**
<https://www.facebook.com/kohonishio/>
- 西尾市 LINE 公式アカウント**
@nishiocity
- 愛知県防災安全局ホームページ**
<https://www.pref.aichi.jp/bousai/>
- 名古屋地方気象台**
<https://www.jma-net.go.jp/nagoya/>
- 国土交通省 川の防災情報**
<https://www.river.go.jp/>
- 愛知県 川の防災情報**
<https://www.kasen-aichi.jp/>

テレビ・ラジオ放送

テレビ・ラジオを通じた、緊急放送、文字情報での情報提供を行います。また、災害時に行政が発信する防災情報を地上デジタル放送のデータ放送を通じて確認できます。リモコンのdボタン(データ放送)を操作してください。

西尾市防災アプリ・防災メール

西尾市の防災情報を集約したスマートフォン用アプリを配信しています(要ダウンロード)。防災無線の放送内容や、避難所、ハザードマップなどが確認できます。防災メールで防災無線の放送内容を確認することもできます。(要事前登録)。

防災アプリ

iPhone Android

ダウンロード用QRコード

防災メール

bousai.nishio-city2@raidens2.ktaiwork.jp

登録用メールアドレス・QRコード

防災無線テレホンサービス

防災無線の放送内容を電話で確認できます。以下の電話番号から確認できます。

☎ 0120-96-8111 (通話料無料)

緊急速報メール

携帯電話の「エリアメール」・「緊急速報メール」の機能を使って、避難指示等の避難情報、その他の緊急情報を西尾市内の携帯電話に自動的にお知らせします。情報の受け取り方法については、各携帯電話会社のホームページを参照してください。

広報車

災害時に出勤し、拡声器で注意を呼びかけます。

わが家の防災メモ・非常持ち出し品

集合場所

災害別	集合場所	連絡先(第一候補)	連絡先(第二候補)

家族等の連絡先

家族等の名前	電話番号	メールアドレス

※浸水しない地区などにお住まいの親戚・知人も記入しておきましょう。

非常持ち出し品(例)

- 飲料水
- 食料(保存食、缶、チョコレートなど)
- 筆記用具・ノート
- 下着・靴下
- 貴重品(現金、保険証など)
- ティッシュペーパー・トイレットペーパー
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 靴
- 軍手
- 毛布又は寝袋
- 雨具
- タオル
- 医薬品・常備薬
- リュックサック
- ヘルメット
- ハザードマップ
- マスク、体温計

災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤル「171」
安否確認や避難している場所を音声で伝言することができます

171にダイヤルガイダンスが流れる

1 伝言を録音する時は (0000)□□-□□□□ 伝言を吹き込む
被災地の人は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の人の電話番号を市外局番から入力

2 伝言を再生する時は (0000)□□-□□□□ 伝言を聞く

災害用伝言板

携帯電話から専用の伝言板サイトで、伝言を残すことができます

- NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
- KDDI:au <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
- ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>

避難の心得と洪水発生仕組み

避難時のポイント

いざという時のために、日頃から避難に必要な物を整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の発生が想定される場合は、正確な情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

状況により、すばやく避難
避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。

防災メモを持とう
住所・氏名・連絡先などを記載した防災メモを用意し、身につけて避難しましょう。

持ち出し品は最小限に
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手で自由に使えるようにしましょう。

家族には連絡メモを残そう
外出中の家族には「どこへ避難する」といったようなメモを残しておきましょう。

集団で助け合おう
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

安全なルートで避難
川沿い、地下歩道などは避け、できるだけ安全で広い道を選びましょう。

避難所では指示に従いましょう
避難所に着いたら、係の人の指示に従い、住所・氏名を報告しましょう。

浸水や洪水について

大雨が降ると河川等から水があふれます。浸水や洪水の発生のメカニズムを知っておきましょう。

内水による浸水(内水氾濫)
雨の量が下水道や道路側溝などの排水施設の能力を超えたり、河川水位が高くなった時、雨水を排水できずに、浸水することがあります。

洪水(外水氾濫)
大雨によって河川の水位が高くなると堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊することがあります。

水平避難(立退き避難)と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、高齢者等避難や避難指示などが発令されていても、**避難場所への避難(水平避難)**だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった**高い場所へ避難(垂直避難)**するという判断も必要です。また、土砂災害の危険性がある地区では、屋内でも山と反対側に避難することも必要です。

危険な避難 危険な場所から離れる(水平避難) 高所への避難(垂直避難)

早期立退き避難が必要な区域

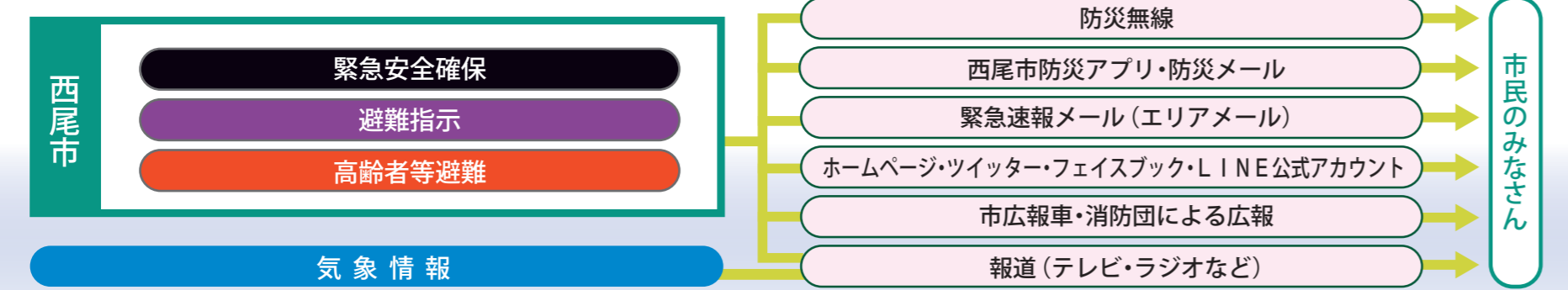
次区域では早期の立退き避難をしてください

- 浸水深 3.0m以上になる区域
- ※建物が1階建ての場合は、浸水深 0.5mになる区域
- 洪水時に家屋倒壊の危険性がある区域(家屋倒壊等氾濫想定区域内)

河川の近くは、川の流れ(氾濫や河岸侵食)により堤防が決壊した場合に家屋が倒壊する危険性があります。市からの避難情報などに注意し、危険を感じたらすぐに避難してください。

情報伝達の流れ

河川の氾濫等災害の発生が予想される場合は、気象庁や西尾市等から、防災無線やアプリ、メール、ツイッター等で情報を発信します。



発表される情報の内容

警戒レベル4で全員避難!

警戒レベル	市民のみなさんがとるべき行動	西尾市	気象庁等
5	危険な区域からまだ避難出来ていない方は、命を守るための最善の行動をとる 命が危険な状況です。逃げ遅れた場合は、安全を確保し、命を守る行動をしましょう	※市民のみなさんに行動を促す情報 緊急安全確保	※警戒レベルに相当する気象庁等の情報 大雨特別警報
4	危険な場所から全員が避難を完了 ■暴風や道路冠水等により、避難が困難になる前に避難を完了する ■速やかに、避難場所や安全な場所へ避難するか、屋内で安全を確保しましょう ■自宅等から外出することによって命の危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内より安全な場所へ避難しましょう ■お互いに助け合い避難しましょう	避難指示 被害が発生するおそれが高まった状況 全員が避難を完了する状況	土砂災害警戒情報
3	危険な場所から高齢者等は速やかに避難 ■いつでも避難できるように、準備しましょう ■正確な情報入手しましょう ■お年寄りや身体の不自由な方は、避難を開始しましょう ■土砂災害警戒区域や急激な水位上昇のおそれがある河川の近くにお住まいの方は、避難準備が整い次第、避難開始	高齢者等避難 被害が発生するおそれがある状況 避難に時間を要する人は避難を開始する状況	大雨警報 洪水警報

指定河川水位の洪水予報として発表される情報

氾濫発生情報(氾濫発生)
氾濫危険情報(氾濫危険水位)
氾濫警戒情報(避難判断水位)
氾濫注意情報(氾濫注意水位)

記録的短時間大雨情報

大雨警報等が発せられている状況で、数年に一度しか起こらないような記録的な短時間大雨が観測された時に発表される情報です。

顕著な大雨に関する気象情報

大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状降水帯(線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況)が発生した場合に発表される情報です。

河川ごとの浸水想定区域図・浸水予想図

凡例
想定される最大浸水深
10.0m以上
5.0~10.0m未満
3.0~5.0m未満
1.0~3.0m未満
0.5~1.0m未満
0.3~0.5m未満
0.3m未満

--- 市界
--- 緊急輸送道路